

会津藩主松平家墓所データ

会津若松市東山町大字石山字墓山【院内御廟】
 耶麻郡猪苗代町見禰山【初代藩主保科正之の廟所】

指定年月日…昭和62年5月12日
 指定面積…158,303㎡

院内御廟内の主な埋葬場所

入之峰…三代・五代・七代・九代藩主【神式】5基

中丸山…四代・八代藩主【神式】2基

二代藩主墓所(仏式) 1基

西之御庭…初代正之嗣子正頼【神式】1基

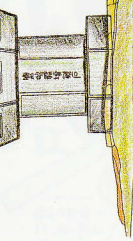
藩主の母・子女【仏式】12基

中之御庭…初代正之五男正純(神式)1基

藩主の母、側室、子女(仏式)8基

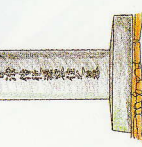
藩主の墓【神式】のつくり

鎮石(ちんせき・しずめいし)



神の霊を永久に一定の場所にとどませ、神を鎮め祀る石のこと。霊神名が篆書体で刻まれている。

表石(ひょうせき・おもていし)



故人の諱(生前の名)と官位・身分などが行書体で刻まれている。

碑石(ひせき・いしぶみいし)

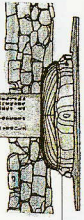


故人の姓名・生立ち・人柄・業績・孝徳を称える文が刻まれている。撰文は、当代随一の国学者がこれにあたった。

亀趺坐(きぶざ)

亀石の名で親しまれ、上部に碑石が載っている。耳や牙をもつ伝説上の動物。院内御廟では、鎮石や表石の方向を向いている。

拝所



院内御廟関連年表

| 西暦 | 年号 | できごと |
|-------|------|---------------------------------|
| 1643 | 寛永20 | 保科正之、会津に転封 |
| 1657 | 明暦3 | 保科正頼没 院内御廟の始まり |
| 1669 | 寛文9 | 二代正経襲封(在位13年) |
| 1672 | 寛文12 | 保科正之の葬地を見禰山に定める 初代藩主保科正之没62歳 |
| 1681 | 天和元 | 正容が三代目襲封(在位51年)・正経没36歳 |
| 1684 | 貞享元 | 二代墓所に碑石が建つ |
| 1696 | 元禄9 | 松平姓と葵紋が与えられる |
| 1731 | 享保16 | 正容没63歳・四代容貞襲封(在位20年) |
| 1733 | 享保18 | 三代墓所に碑石が建つ |
| 1750 | 寛延3 | 容貞没27歳・五代容頌襲封(在位56年) |
| 1787~ | 天明7~ | 藩政改革の実施 |
| 1801 | 享和元 | 日新館落成 |
| 1805 | 文化2 | 容頌没62歳・六代容住襲封(在位5ヶ月) |
| 1806 | 文化3 | 容住没28歳 |
| 1806 | 文化3 | 七代容榮襲封(在位17年) |
| 1808 | 文化5 | 蝦夷地警備を命じられる |
| 1810 | 文化7 | 江戸湾警備を命じられる |
| 1815 | 文化12 | 家世実紀277巻成る |
| 1822 | 文政5 | 容榮没20歳・八代容敬襲封(在位31年) |
| 1847 | 弘化4 | 江戸湾警備を命じられる |
| 1852 | 嘉永5 | 容敬没47歳・九代容保襲封(在位17年) |
| 1868 | 明治元 | 鳥羽・伏見の戦い、9月会津藩降伏開城 |
| 1893 | 明治26 | 容保没59歳・大正6年院内御廟へ移葬 |

Map



Access



国史跡 会津藩主松平家墓所



三代藩主墓所(碑石)

寛永二〇年(1643)保科正之、会津藩を領す。それから14年、明暦三年(1657)。この地、院内村院内山に嗣子正頼の墓を切り開く。

二代藩主正経、続いて三代藩主松平正容の埋葬地として決定後、この場所は歴代藩主の廟所として歴史を刻むこととなった。

壮大な敷地のなかに配された神式の石造物が、荘厳な景観とともに会津藩の想いを伝え続ける。

会津若松市教育委員会文化課

会津若松市栄町5番17号 TEL0242-39-1305